

2026 年度

技術・人材協力を通じた新興国との共創推進事業

(研修・専門家派遣・寄附講座開設事業)

高度外国人材就業者日本語等研修

＝募集要項＝



一般財団法人 海外産業人材育成協会

The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships

はじめに

一般財団法人海外産業人材育成協会（The Association for Overseas Technical Cooperation and Sustainable Partnerships、略称 AOTS）は、主に開発途上国の産業人材を対象とした人材育成事業を通じて、民間企業の協力を得て技術協力を推進し、日本と海外諸国相互の経済発展に貢献するとともに、友好関係の増進にも寄与することを目的に活動しております。

AOTS は、本年度から国庫補助事業である技術・人材協力を通じた新興国との共創推進事業（研修・専門家派遣・寄付講座開設事業）の一環として、在留資格「技術・人文知識・国際業務」または「高度専門職」で日本の中小企業に就業する高度外国人材を対象とした「高度外国人材就業者日本語等研修」を実施いたします。

この募集要項は、「高度外国人材就業者日本語等研修」の実施希望申込についてご案内するものです。

高度外国人材を活用する中小企業からの「より高い日本語能力と、日本の社会・文化・生活慣習・商慣習への理解を身につけさせたい」というご要望にお応えする「高度外国人材就業者日本語等研修」を多くの企業の皆様にご活用いただければ幸いです。

2026 年 7 月

一般財団法人 海外産業人材育成協会

目次

1. 制度の概要	1
2. ご利用の要件	4
3. 申込み方法	4
4. 提出書類	5
5. 補助対象経費と分担金（申請企業の経費負担）	6
6. 手続きの流れ（イメージ）	7
7. 募集期間および申請窓口	8

1. 制度の概要

1) 研修の趣旨

日本政府の ODA（政府開発援助）予算からの国庫補助金の適用を受けて、開発途上国の国籍を有する高度外国人材が、在留資格「技術・人文知識・国際業務」または「高度専門職」で日本の中小企業に就業する際に必要となる日本語能力の向上や日本の社会・文化・生活慣習・商慣習への理解形成に資する研修を行い、高度外国人材の就業能力向上を支援します。

2) 研修の実施形態

高度外国人材就業者日本語等研修は、AOTS 研修センターに宿泊して実施する合宿型研修です。6 週間コースまたは 13 週間コースのいずれかのコースとなります。

【日本語学習】

来日後コース初日に日本語能力のクラス判別試験を行い、6 週間コース、13 週間コース中の学習内容と使用教科書を決定します。効率的に実用的日本語能力の向上を図るため、研修生の能力レベルに合わせた教材と独自の研修システムで研修を実施します。

【講義・見学】

日本の社会や人、あるいは日本企業の特徴等を理解するための講義・演習等を行います。その他、日本での生活を理解するための講義や産業施設等の見学も実施します。

(1) コースの種類

■ 6 週間コース（モデルカリキュラム）

週	午前(9:00 - 12:00)				午後(13:00 - 16:00)				
来日									
第1週	(水)	会議1		コース説明		日本語1	クラス判別試験		
	(木)		日本語2			日本語3			
	(金)		日本語4		見学1		市内見学		
	(土)		日本語5						
	(日)	休日							
第2週	(月)		日本語6			日本語7			
	(火)		日本語8			日本語9			
	(水)		日本語10		講義1		生活案内(日本人の生活・マナー)		
	(木)		日本語11			日本語12			
	(金)		日本語13		講義2		異文化適応	中間検討会 I	
第3週	(土)		日本語14						
	(日)	休日							
	(月)		日本語15			日本語16			
	(火)		日本語17		見学2		防災施設見学		
	(水)		日本語18	フィールドワーク準備		日本語19	フィールドワーク		
第4週	(木)		日本語20			日本語21			
	(金)		日本語22			日本語23			
	(土)		日本語24						
	(日)	休日							
	(月)		日本語25			日本語26			
第5週	(火)		日本語27		講義3		ビジネスマナー		
	(水)		日本語28			日本語29			
	(木)		日本語30			日本語31			
	(金)		日本語32			日本語33			
	(土)		日本語34						
第6週	(日)	休日							
	(月)		日本語35			日本語36			
	(火)		日本語37			日本語38			
	(水)		日本語39			日本語40			
	(木)		日本語41		講義4		問題解決	中間検討会 II	
第7週	(金)		日本語42			日本語43			
	(土)		日本語44						
	(日)	休日							
	(月)		日本語45			日本語46			
	(火)		日本語47			日本語48			
第8週	(水)		日本語49			日本語50			
	(木)		日本語51			日本語52			
	(金)		日本語53			日本語54			
	(土)		日本語55						
	(日)	休日							
第9週	(月)		日本語56		講義5		リーダーの役割		
	(火)		日本語57			日本語58	振り返り等	修了式	

■ 1 3 週間コース（モデルカリキュラム）

週		午前(9:00 - 12:00)			午後(13:00 - 16:00)		
来日日							
第1週	(水)	会議1	コース説明			日本語1	クラス判別試験
	(木)		日本語2			日本語3	
	(金)		日本語4		講義1		生活案内(日本人の生活・マナー)
	(土)		日本語5				
	(日)	休日					
第2週	(月)		日本語6			日本語7	
	(火)		日本語8			日本語9	
	(水)		日本語10		見学1	日本語12	防災施設見学
	(木)		日本語11				
	(金)		日本語13		見学2		市内見学
第3週	(土)		日本語14				
	(日)	休日					
	(月)		日本語15			日本語16	
	(火)		日本語17		講義2		ビジネスマナー 中間検討会 I
	(水)		日本語18			日本語19	
第4週	(木)		日本語20	フィールドワーク準備		日本語21	フィールドワーク
	(金)		日本語22			日本語23	
	(土)		日本語24				
	(日)	休日					
	(月)		日本語25			日本語26	
第5週	(火)		日本語27			日本語28	
	(水)		日本語29			日本語30	
	(木)		日本語31		講義3		日本文化理解
	(金)		日本語32			日本語33	
	(土)		日本語34				
第6週	(日)	休日					
	(月)		日本語35			日本語36	
	(火)		日本語37			日本語38	
	(水)		日本語39		講義4		異文化適応
	(木)		日本語40			日本語41	
第7週	(金)		日本語42			日本語43	
	(土)		日本語44				
	(日)	休日					
	(月)		日本語45			日本語46	
	(火)		日本語47		見学3		企業・施設見学
第8週	(水)		日本語48			日本語49	
	(木)		日本語50		講義5		5Sと改善 中間検討会 II
	(金)		日本語51			日本語52	
	(土)		日本語53				
	(日)	休日					
第9週	(月)		日本語54			日本語55	
	(火)		日本語56			日本語57	
	(水)		日本語58		見学4		企業・施設見学
	(木)		日本語59			日本語60	
	(金)		日本語61			日本語62	
第10週	(土)		日本語63				
	(日)	休日					
	(月)		日本語64			日本語65	
	(火)		日本語66			日本語67	
	(水)		日本語68			日本語69	
第11週	(木)		日本語70			日本語71	
	(金)		日本語72			日本語73	
	(土)		日本語74				
	(日)	休日					
	(月)		日本語75			日本語76	
第12週	(火)		日本語77			日本語78	
	(水)		日本語79			日本語80	
	(木)		日本語81			日本語82	
	(金)		日本語83			日本語84	
	(土)		日本語85				
第13週	(日)	休日					
	(月)		日本語86			日本語87	
	(火)		日本語88		講義6		問題解決 中間検討会 III
	(水)		日本語89			日本語90	
	(木)		日本語91			日本語92	
第14週	(金)		日本語93			日本語94	
	(土)		日本語95				
	(日)	休日					
	(月)		日本語96			日本語97	
	(火)		日本語98			日本語99	
第15週	(水)		日本語100		見学5		企業・施設見学
	(木)		日本語101			日本語102	
	(金)		日本語103			日本語104	
	(土)		日本語105				
	(日)	休日					
第16週	(月)		日本語106			日本語107	
	(火)		日本語108			日本語109	
	(水)		日本語110			日本語111	
	(木)		日本語112			日本語113	
	(金)		日本語114			日本語115	
第17週	(土)		日本語116				
	(日)	休日					
	(月)		日本語117			日本語118	
	(火)		日本語119			日本語120	
	(水)		日本語121			日本語122	
第18週	(木)		日本語123			日本語124	
	(金)		日本語125			日本語126	
	(土)		日本語127				
	(日)	休日					
	(月)		日本語128		講義7		リーダーの役割
第19週	(火)		日本語129			日本語130	振り返り等 修了式

(2) 研修実施センター

コースを実施するAOTSの研修センターは、東京研修センター（東京都足立区）、関西研修センター（大阪市住吉区）のいずれかとなります。研修参加者には研修期間中、シングル個室に宿泊していただきます。ご希望に応じて3食付き宿泊を提供いたします。

<https://www.aots.jp/about/centers/>

東京研修センター（東京都足立区）



宿泊人数:200人

関西研修センター（大阪市住吉区）



宿泊人数:300人

■個室（約15㎡）

机・いす、バス・トイレ、テレビ、電話、Wi-Fi・LAN、スリッパ、ハンガー、まほうびん、グラス、タオル(フェイスタオルおよびバスタオル)が常備されており、石鹸、カミソリ等は受付で購入できます。



■洗濯室

各研修センターには男女別の洗濯室が設けられています。
自動洗濯機と乾燥機を利用できます。（無料）
ドライ・クリーニングは受付で取り扱っています。（有料）



■食堂

各研修センターの食堂は、朝（800円）・昼（1,000円）・夕食（1,400円）の料金で食事を提供しております。※日曜日は、食堂休業日
3食付きセンター泊で申請いただきましたら、参加者の食事制限等に配慮した食事を提供いたします。
なお、申請いただいた3食付きセンター泊料金は補助対象となります。



2. ご利用の要件

申請企業	次項に該当する研修参加者が、「技術・人文知識・国際業務」または「高度専門職」の在留資格で就業している、もしくは就業予定である日本の中小企業（注1）等とします。また、日本側の資本が50%超の企業とします。 注1：中小企業は中小企業基本法に規定されている通りです。中小企業に該当しない企業に全額出資される中小企業も対象とします。なお、二国間関係強化に資する案件と判断される場合、例外的に中小企業に該当しない企業を対象とすることもあります。
研修参加者	(a) 開発途上国・地域（注2）の国籍を有する者 (b) 申請者による身元保証のもと、在留資格「技術・人文知識・国際業務」または「高度専門職」により日本に在留する者、もしくは在留を予定する者 (c) 原則として、全研修日程に参加できること 注2：開発途上国・地域とは、開発途上国〔経済協力開発機構（OECD）の開発援助委員会（DAC）が定めるODA対象国・地域〕。ただし、中国および日本政府のODA予算により協力を行うことが認められていない国・地域は除きます。
研修実施時期	研修コース開始日は、研修参加者の日本在留開始日から6か月以内
研修期間中の宿舎について	実施期間中はAOTS研修センターに宿泊する合宿型（注3）で行われます。 注3 ご希望に応じて食事付センター泊（宿泊費9,000円/泊＋食費3,200円/3食）で申請いただくことができます。なお、その場合は食費も補助対象となります。

3. 申込み方法

研修参加者の日本語レベルによって、申請手続き手順が異なります。

1) 日本語中級レベル人材向け／N3～N2レベルの場合

申請は随時受け付けます。各申請の実施希望時期を確認し、応募状況を総合的に勘案した上で、最適なコース開設時期を設定します。開設コースの日程について改めてAOTSから申請企業に対してご案内します。

まずは申請書（エクセル書式）の記入欄にご希望の研修開始月とコース種類（6週間または13週間のいずれか）を入力していただき、仮申込みとしてメールでご提出ください。AOTSにて各申請の実施希望時期を確認し、コース開設時期および実施センター（東京研修センターあるいは関西研修センター）を調整の上、研修コースを開設し、各申請企業にご案内します。

その後、各申請企業からご提出いただいた本申込書類に基づき、審査委員会への諮問手続きを進め、承認されましたら結果を通知します。

2) 日本語初級レベル人材向け／N5～N4レベルの場合

既存の設置コースに申請いただきます。

申請書（エクセル書式）の記入欄に、下記の既存コースからご希望の研修コースをお選びいただき、開始月日、コース種類（6週間または13週間のいずれか）を入力してメールでご提出ください。（原則として〆切日までにご提出ください。）

審査委員会への諮問手続きを進め、承認されましたら結果を通知いたします。

実施センター
TKC: 東京研修センター
KKC: 関西研修センター

■ J6W(6週間コース)

開始日	終了日	実施センター	申込書の〆切日
11 月 25 日 (水)	2027 年 1 月 12 日 (火)	TKC	8 月 25 日 (火)
12 月 9 日 (水)	2027 年 1 月 26 日 (火)	KKC	9 月 9 日 (水)
2027 年 1 月 14 日 (木)	2027 年 2 月 24 日 (水)	TKC	10 月 20 日 (火)

■ J13W(13週間コース)

開始日	終了日	実施センター	申込書の〆切日
11 月 25 日 (水)	2027 年 3 月 2 日 (火)	KKC	8 月 25 日 (火)

4. 提出書類

1) 仮申込み

エクセルの申請書に記入事項をご記入いただき、メールで仮申込みを行なってください。
AOTS でお申込み内容を確認し、担当者より以降の手続きについてご案内します。

2) 本申込み書類の提出

申請書を精査し、要件を満たすことを確認後、参加いただけるコースが確定しましたら、本申請として申請書類のご提出をお願いします。提出書類は下記の通りです。

■ 申請書

- ① 研修申込書（代表者印を押印したもの）＊原本を郵送してください
- ② 申告書

■ 添付書類

- ① 研修参加者の顔写真のあるパスポートページ（写）＊ODA 対象国の国籍を確認するため
- ② 研修参加者の在留資格「技術・人文知識・国際業務」または「高度専門職」を証する書類
＊査証（写）または在留カード（写）、
＊査証申請前の場合は、在留資格認定証明書（写）
- ③ 研修参加者の日本語能力試験の成績証明書（写）＊研修参加者が取得している場合
- ④ 申請企業の財務諸表（決算書）（写）＊直近2年分
- ⑤ 申請企業の労働保険申告書（写）＊全事業所分（中小企業基本法に規定する中小企業のうち、従業員数で判断する場合）
- ⑥ 申請企業の株主名簿又は出資者とその出資比率を記載した書類（写）

3) 審査

- (1) 申請内容を学識経験者、産業界・関係団体等の代表者で構成される審査委員会に諮ります。
- (2) 審査委員会での承認後、審査結果通知書（承認通知書）を送付します。

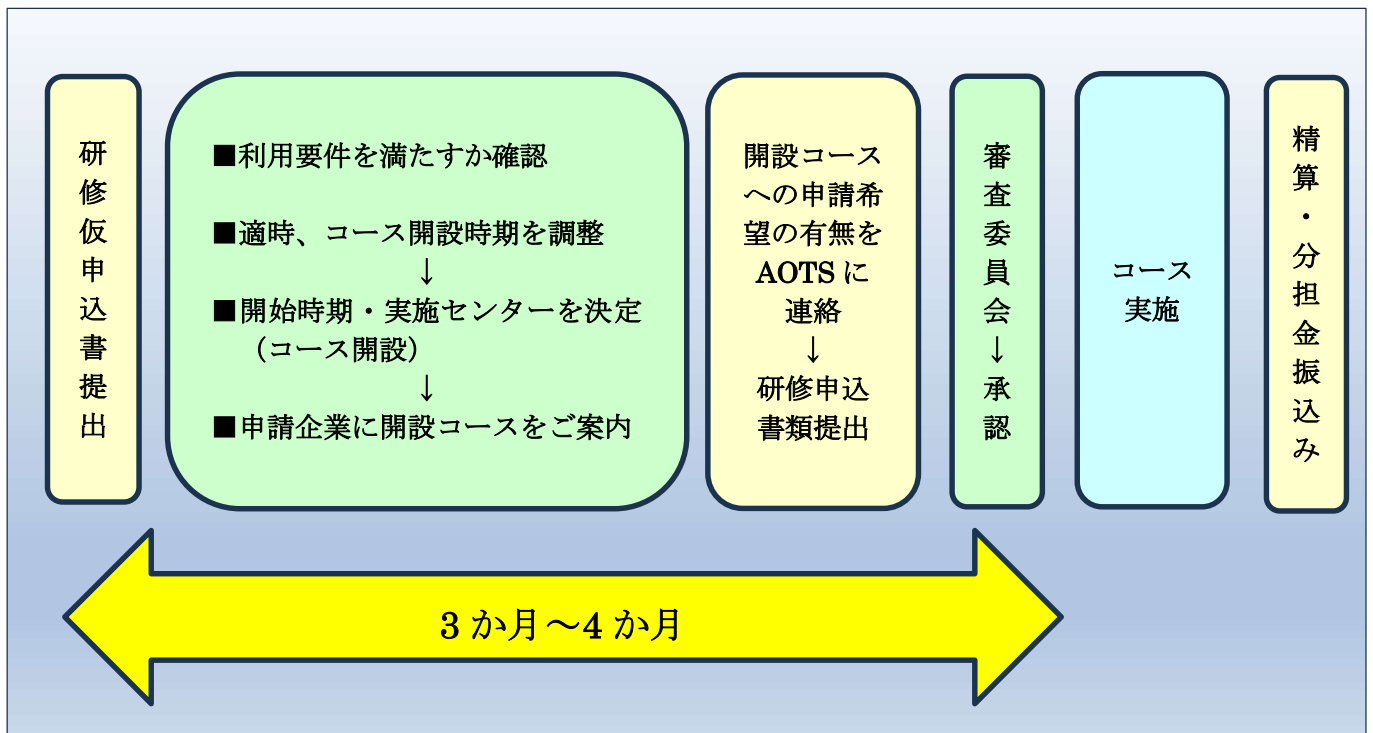
5. 補助対象経費と分担金（申請企業の経費負担）

本研修の実施にあたり、AOTS 規程に基づき ODA 予算による国庫補助金が適用されます。

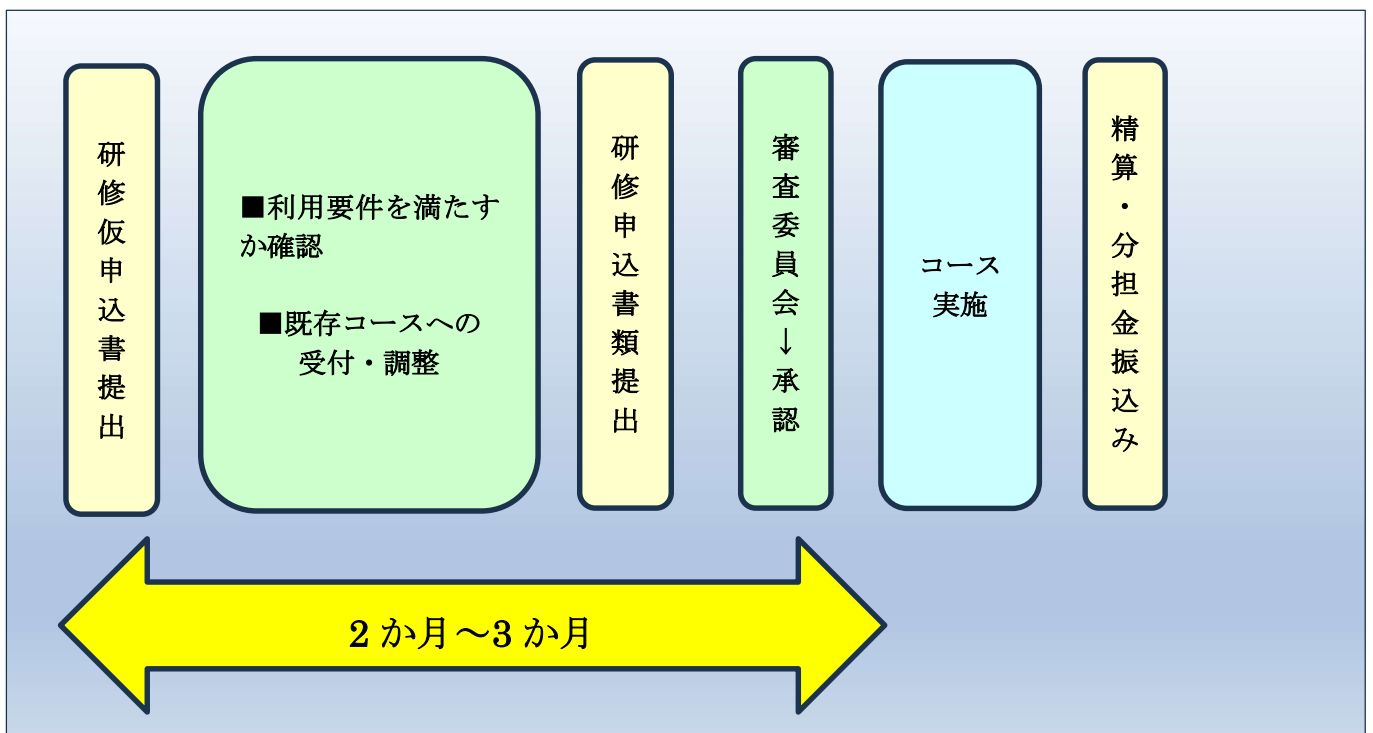
補助対象経費	
下記の経費が補助対象となります。 ■ 研修センター宿泊費 研修開始日の前日から研修終了日までの研修センター宿泊費（@9,000 円/泊） ■ 3 食付きセンター泊をご希望の場合 研修開始日の前日から研修終了日までの研修センター宿泊費および食費 12,200 円/泊・3 食（@9,000 円/泊 + @3,200 円/3 食） ■ 研修参加者の国内交通費（下記 2 回分） ① 研修開始時、就労先の居住地もしくは来日空港から研修センターまでの公共交通機関による交通費 ② 研修終了後、研修センターから就労先の居住地までの公共交通機関による交通費	
補助および申請企業の経費負担	
受入分担金	上記の補助対象経費総額の 3 分の 2 に国庫補助金が適用されます。 申請企業には 3 分の 1 を受入分担金としてご負担いただきます。
	■ 研修センター宿泊費に係る受入分担金 1 人当たりの試算 6 週間コースの場合：43 泊 × @9,000 円/泊 × 1/3 = <u>129,000 円</u> 13 週間コースの場合：92 泊 × @9,000 円/泊 × 1/3 = <u>276,000 円</u> ■ 3 食付きセンター泊による研修センター利用料の場合 6 週間コースの場合：<u>174,533 円</u> 【内訳】 初日 11,200 円/泊（夕・朝食）+ [@12,200 円/泊（3 食）× 42 泊] × 1/3 13 週間コースの場合：<u>373,800 円</u> 【内訳】 初日 11,200 円/泊（夕・朝食）+ [@12,200 円/泊（3 食）× 91 泊] × 1/3 ■ 研修参加者の国内交通費（実費） × 1/3
研修実施 分担金	研修コース実施等に要する経費のうち、国庫補助金でまかなわれない金額相当分をご負担いただきます。 下欄の研修実施分担金を定額でご負担いただきます。
	■ 6 週間コース：287,000 円/人 ■ 13 週間コース：494,000 円/人
精算方法	
研修コース終了後に精算します。分担金の請求総額から、申請により AOTS から支給される国内移動費等を差し引いた精算額を申請企業にご請求します。お支払い期日は、研修終了のタイミングによって、請求月の月末あるいは翌月末となります。（振込先：AOTS 指定口座）	

6. 手続きの流れ（イメージ）

1) 日本語中級レベル人材向け／N3～N2レベル



2) 日本語初級レベル人材向け／N5～N4レベル



7. 募集期間および申請窓口

1) 募集期間
随時申請を受け付けておりますが、単年度事業（～2027 年 3 月末）としての精算を年度内に終了する必要があるため、 <u>ご希望いただけるコース実施時期は、研修終了日が 2027 年 3 月上旬頃までとなる日程に限りです。</u> （最も遅いケースで、6 週間コース開始：1 月末頃、13 週間コース開始：12 月上旬頃となります。） また、予算の執行状況等によっては、年度途中でお申込みを締め切ることがあります。
2) 申込み方法
まずは、お電話または E-mail にてご相談ください。制度のご説明に加え、お申込みに必要な申請書類の準備等についてご案内します。
3) 提出先
一般財団法人 海外産業人材育成協会 企業連携部 企業連携第 1/第 2 グループ 〒120-8534 東京都足立区千住東 1-30-1 TEL: 03-3888-8221 FAX: 03-3888-8428 E-mail: kigyo-inquiry-az@aots.jp

※AOTS の個人情報保護方針について: 詳細は当協会ホームページ(<https://www.aots.jp/privacy-policy/>)に公開しています。本文書にご記入の個人情報は、当協会の個人情報保護方針に基づき、安全に管理し保護の徹底に努めます。また当該研修に係る事務手続き並びに当協会からの各種ご案内等に使用します。